

フィールドワーク

尾瀬フィールドワーク

2025年8月2日～8月4日 場所：尾瀬国立公園

SSH
Super Science High school

尾瀬を学び、感じる3日間

本校では様々な研修、フィールドワークを通して、自ら体験し、考える力を伸ばしています。8月2日から8月4日にかけて、尾瀬フィールドワークを実施しました。尾瀬は、福島県・栃木県・群馬県・新潟県の4県にまたがる、標高約1,400メートルの広大な高原盆地です。2泊3日の行程で、尾瀬の環境保全に取り組む東京パワーテクノロジー株式会社のガイドさんから、尾瀬特有の動植物や環境、環境保全の取り組みとその難しさについて学びました。

1日目は尾瀬戸倉の森で、夜行性のヤマネが寝ている巣箱を一つ一つ確認する調査を行いました。見つかりにくいと言われているヤマネですが、最初の調査でいきなり巣箱で眠る姿を観察できました。ヤマネ調査を終えた後は、尾瀬ヶ原を散策し、モウセンゴケやアカハライモリなどの普段なかなか見られない動植物、地形、木道、環境保全の工夫について、実物を間近で観察しながら学びました。

2日目は早朝から散策を行い、幻想的な風景を楽しみました。日中は竜宮や平滑の滝などの名所を巡り、夜には鹿の頭数調査方法の一つである「ライトセンサス調査」を体験しました。これは、ライトが鹿の目に当たったときの反射光を利用して頭数を調べる方法で、実際に数頭の鹿を発見することができました。

3日目は研究見本園を見学し、多様な植物や環境管理の取り組みについて理解を深めました。

3日間を通して、尾瀬の豊かな自然と、それを守るために尽力する人々の努力を肌で感じる事ができました。



早朝散策



ヤマネの観察



モウセンゴケ (生徒撮影)



アカハライモリ (生徒撮影)